

平成27年度 行政評価の取組について

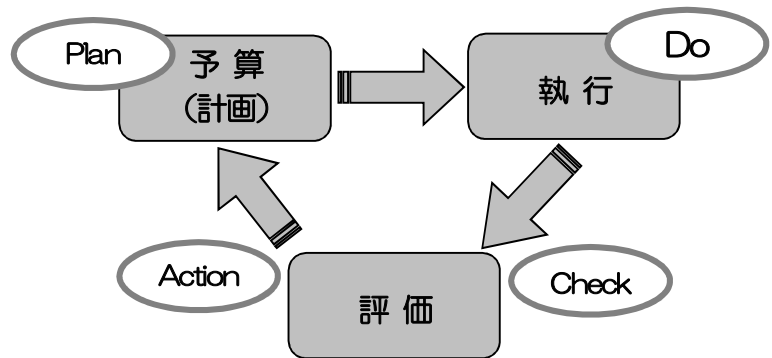
1. 行政評価の取組

(1) 評価の位置付け

行政評価は、行政が実施している政策、施策や事務事業について、有効性、効率性、必要性等の観点から行政自らが市民の視点に立って点検や評価を行い、その結果を次の企画立案にいかすことによって、政策の質的向上を図っていくための取組です。

名張市では、自治基本条例第25条において「市は、効果的で効率的な市政運営と総合計画の進行管理を行うため、行政評価を実施し、その結果を施策の見直し、組織の改善等に速やかに反映しなければならぬ。」と規定し、行財政マネジメントシステムの一環として取り組んでいます。

具体的には、実施した事業、施策について、「評価 (Check)」を行うことで、計画の達成度、効率性等を客観的に評価し、その結果を次の予算に「反映・改善 (Action)」することで、総合計画の実現に向けた効果的、効率的な行政運営を進めようとするものです。

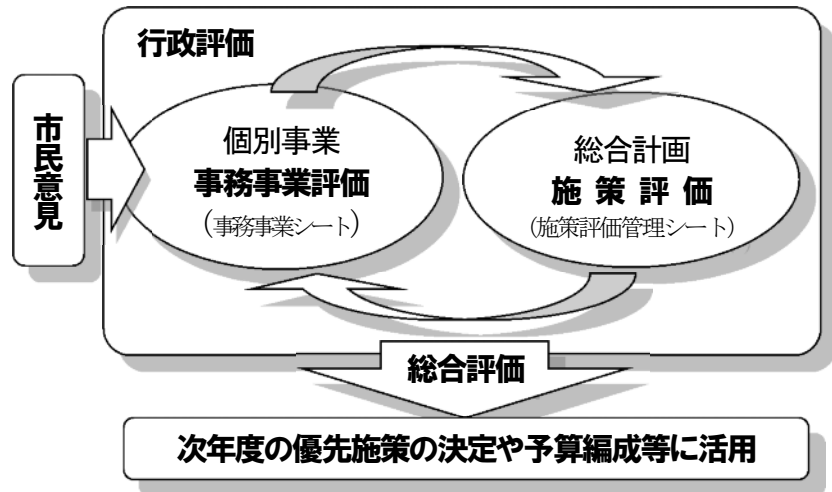


(2) 評価の実施方針

名張市では、総合計画の適切な進行管理と政策の質的向上を図るため、「施策評価」と「事務事業評価」の2段階の自己評価を実施しています。

「事務事業評価」は、個別の事務事業を対象に事業推進に向けての課題をはじめ、取組結果の評価、今後の方向性等について検討します。「施策評価」は、名張市総合計画『理想郷プラン』後期基本計画（以下「後期基本計画」という。）の50の施策を対象に、施策目標として位置づけている指標に対する達成度、達成のための事務事業の進捗状況、方向性等を踏まえ、達成度や進捗状況等を評価します。

また、それぞれの評価は、担当部局・室による自己評価であるため評価者の主観的要素が強く現れたものとなることから、評価の客観性や透明性を高めるため、平成24年度からは行政評価委員会（以下「委員会」という。）による「総合評価」を実施しています。



2. 平成27年度の取組について

人口減少による市税収入の減少と、急激な高齢化に伴う社会保障関係経費の大幅な増加のほか、老朽化する公共インフラの維持・更新への対応のための歳出の増加が見込まれます。また、地方交付税をはじめとする国の財政支援のあり方も流動的であるという背景の中、名張市の財政は今後も引き続き厳しい状況が続くものと見込んでいます。

そのような中、本年度の行政評価については、これまで委員会で実施していた施策のA B C Dの4段階評価は行わず、担当部局の自己評価と施策を効果的に推進するための進捗管理にとどめ、持続可能な財政基盤の構築に向けた更なる行財政改革の観点から、総合評価において事務事業の総点検を重点的に行いました。

事務事業の総点検に当たっては、担当部局による施策及び事務事業に関する自己評価を基に、事務局（企画財政部）において抽出した検討対象事業を委員会に示し、担当部局からのヒアリング及び市長ヒアリングを経て、各施策の推進に対する事業の有効性や優先順位、事業相互間の関連性等の総合的な観点から検討を行いました。

この評価の結果については、平成28年度の優先施策の選定や予算編成等に活用します。

3. 施策評価

(1) 施策評価の視点

①成果志向の行政運営の実現

施策ごとに指標及び計画年度における目標値を設定し、各施策がどのような成果を目指しているかを分かりやすく示します。

施策指標の現状値やこれまでの推移（実績値）を目標値と比較することで、「施策が目的どおりの成果をあげているのか」、「手段としての事業の構成や優先順位が適切であるか」等を把握し、施策の進捗状況を評価します。

②説明責任の確保

施策及び施策実現のために実施する事務事業について、各指標の達成状況や見直し・改善策、施策達成に向けた推進状況等を市民の皆さんに公表することで、市政の透明性を図っています。

(2) 担当部局による自己評価

各施策に掲げる指標の目標値に対する達成度、達成のための事務事業の進捗状況・方向性等を踏まえ、主担当部局が関係部局と協議の上、総合的に達成度・進捗状況等の自己評価を行いました。

評価区分別の施策数及び割合は右表のとおりです。

内部評価	件数	割合
計画どおり事業推進	33	66.0%
事業推進の一部改善	16	32.0%
事業内容・規模等の見直し	1	2.0%
抜本的な見直しが必要	0	0.0%
合計	50	100.0%

◇施策指標の進捗率の分布状況について【2014(平成26)年度実績】※詳細はP9資料参照

政策	施策名	施策指標数	進捗率の分布状況							部局による 施策評価	
			0%	1~15%	16~32%	33~49%	50~65%	66~82%	83~99%		100%
1 健康で安心に認め合い支え合う、互いに認め合い暮らそう	1.人権尊重	6	1				1			4	○
	2.男女共同参画社会	4	1					1		2	○
	1.地域づくり	3	2							1	◎
	2.市民公益活動	2	1		1						◎
	3.コミュニティの元気づくり	3	1						1	1	◎
	1.健康福祉ネットワーク	5			1		1		1	2	◎
	1.健康づくり	6	2		1	1				2	◎
	2.地域医療	4		1						3	◎
	1.高齢者福祉	5	2		1					2	◎
	2.障害者福祉	5		1	1	1				2	◎
2 潤いのある暮らし、美しい自然と暮らそう	3.子育て・子ども支援	8	4				1	1	2		○
	4.社会保障	5	3							2	◎
	5.雇用	5			1	1				3	◎
	1.環境保全	4	3							1	◎
	2.自然環境	3	3								○
	1.省資源・省エネルギー	4	2				1			1	◎
	2.ごみの減量化とリサイクル	5	3				1			1	☆
	3.廃棄物処理	2						1		1	○
	1.農村環境整備	8	3		1	2				2	○
	2.森林環境整備	3					1	1	1		○
3 人が行き交い活力あふれる安全で快適な暮らし	1.土地利用	2						2			◎
	2.都市環境	3			1			1	1		◎
	3.市街地整備	4	1				1		2		○
	4.水と緑のまちづくり	4	1		2					1	◎
	1.防災	4								4	◎
	2.消防・救急	5		1		2				2	◎
	3.防犯	4						2	2		◎
	1.下水道等	7	2		2		2			1	○
	2.上水道	4	1							3	○
	3.住宅・住環境	3	1				1		1		○
4 ゆとり文化に包まれる豊かな暮らし	4.斎場・墓地	2					1		1		◎
	1.交通対策	4	2							2	○
	2.道路整備	3	1					1	1		◎
	1.都市産業	6	6								◎
	2.観光	5	1	1		1				2	◎
	1.学校教育	5	1				1	1		2	◎
	2.青少年健全育成	4				1	1			2	◎
	1.生涯学習	7	1			1	1	2	1	1	◎
	2.生涯スポーツ	3	1	1				1			◎
	1.市民文化	3				1		2			◎
2.文化資源	3	2		1						◎	
3.文化交流	2	1							1	◎	
5 拓く自立と協働による地域経営	1.地域自治	5	1	1	1				1	1	◎
	2.開かれた市政	5			1			1	1	2	◎
	1.質の高いサービス	7	1			1				5	○
	2.地域情報化	3				1		1		1	◎
	1.戦略的な都市経営	3				1	1			1	◎
	2.効果・効率的な市政	4				1			1	2	○
	3.持続可能な財政運営	5	3							2	○
1.広域連携	5	1		1		1			2	○	
		214	59	6	16	13	18	12	17	73	

※表中「部局による評価」欄の凡例

◎：計画どおり事業推進、○：事業推進の一部改善、☆：事業内容・規模等の見直し、★：抜本的な見直しが必要

◇進捗率とは

後期基本計画に位置付ける施策指標（目標値）に対し、当該年度（実績値）が基本計画策定時（現状値）からどれだけ伸びているか（減っているか）指標の進み具合を数値化します。

$$\text{＜計算式＞} \frac{\text{実績値（2012(平成25)年度）} - \text{現状値（2008(平成20)年度）}}{\text{目標値（2015(平成27)年度）} - \text{現状値（2008(平成20)年度）}} \times 100$$

(3) 施策指標の達成状況から見た施策の進捗状況

後期基本計画の計画期間の6年間で施策指標の達成を実現するためには、1年間で平均して16.6%の進捗を図る必要があります。2014(平成26)年度は、後期基本計画の5年目となるため、進捗率が83%を超えていれば、おおむね計画どおり施策展開が図られているといえます。

進捗率の分布をみると、施策指標総数214指標のうち進捗率が83%以上のものは90指標(42.1%)あり、そのうち既に100%に達したものが73指標(34.1%)あります。その一方で、進捗率が50%を下回るものが94指標(43.9%)あります。

次に、施策別(50施策)の進捗状況をみると、施策に掲げる全ての指標が進捗率83%以上のものは、「土地利用」、「防災」、「防犯」の3施策(6%)であり、全ての指標が進捗率83%を下回るものは「市民公益活動」、「自然環境」、「都市産業」、「生涯スポーツ」、「市民文化」、「文化資源」の6施策(12%)となっています。

(4) 総合評価

①部局別ヒアリングの実施

施策評価の実効性と客観性を確保し、着実な施策推進に向けた共通認識と横断的な取組を推進するため、委員会による部局別ヒアリングを実施しました。

ヒアリングでは、施策指標の達成状況や各部局による自己評価を基に、総合的な観点で施策の進捗状況や課題解決への取組、施策の方向性や改善方法等の聴き取りを行いました。

◇実施日：平成27年7月27日(月)・28日(火)

②総合評価

本年度は、これまで実施していた施策の4段階評価は行わず、施策を効果的に推進するための進捗管理にとどめることとしましたが、施策指標の達成状況等から見て、計画通り進められていない施策が見受けられます。こうした施策については、改めて今後の方向性の整理を行い、課題の解決に努めるとともに、目標達成に向けた取組改善を図る必要があるものと評価しています。

4. 事務事業評価

(1) 担当室による自己評価(内部評価)

全ての事務事業(516事業)を対象に、事業推進に向けての課題や取組結果を踏まえ、必要性、効果・効率等の観点から、今後の事業の方向性(廃止・休止、改善等)の考え方等の自己評価を行いました。

評価区分別の事業数及び割合は右表のとおりです。

内部評価	件数	割合
継続(改善)	81	15.7%
継続(現行)	324	62.8%
継続(拡大)	58	11.2%
継続(縮小)	3	0.6%
統合検討	2	0.4%
休止検討	0	0.0%
廃止検討	0	0.0%
事業完了	48	9.3%
合計	516	100.0%

(2) 内部評価に対する市民意見の募集結果

内部での評価・検証に加え、事務や事業の改善に向けての参考とさせていただくため、市民の皆様に公表し、一定期間意見募集を実施しました。

①意見募集期間

平成27年7月12日（日）から平成27年8月11日（火）まで

②意見提出者数及び件数

意見なし

(3) 事務事業等の見直し・廃止に係る取組

① 事務局での対象事務事業案の抽出

担当部局による施策及び事務事業に関する自己評価を基に、事務局（企画財政部）において見直しの対象とする事務事業案を抽出し委員会に示しました。

② 部局別ヒアリングの実施

委員会において、個々の事業の内容や今後の方向性等についての部局別ヒアリングを行いました。

◇実施日：平成27年7月27日（月）・28日（火）

◇ヒアリング件数：12部局・50件

〔総務部3件、企画財政部2件、地域部4件、市民部2件、生活環境部2件、健康福祉部16件、子ども部2件、産業部7件、都市整備部3件、上下水道部1件、教育委員会6件、市立病院2件〕

③ 市長ヒアリングの実施

部局別ヒアリングを行った事務事業等については、委員会の意見を踏まえ、平成28年度以降の重点取組事項とともに、個々の事業の見直し等の考え方に関する市長ヒアリングを行いました。

◇実施日：8月24日（月）・25日（火）・26日（水）

◇ヒアリング件数：11部局・32件

〔総務部4件、企画財政部2件、地域部2件、市民部1件、生活環境部1件、健康福祉部9件、子ども部3件、産業部6件、上下水道部1件、教育委員会1件、市立病院2件〕

5. 平成28年度当初予算要求に向けて

本年度の行政評価の取組において、つぎのとおり事務事業の見直し等の方向性をまとめました。

今後は、平成28年度の当初予算要求に向けて、担当部局においてこの結果を踏まえた具体案の検討・調整を進めるものとし、その結果を事務局まで報告いただくこととします。また、平成28年度の当初予算に反映できないものについては、その理由と見直し等に向けた考え方と今後の見直し（時期等含む）を報告いただくものとします。

◇件数：11部局・34件

〔全部局共通事項5件、総務部3件、企画財政部1件、地域部1件、市民部1件、生活環境部1件、健康福祉部9件、子ども部2件、産業部6件、上下水道部1件、教育委員会2件、市立病院2件〕

(1) 全部局共通事項

項目	今後の方向性
歳入について	<ul style="list-style-type: none">・協賛金や広告募集等による自主財源の確保に取り組むこと。・使用料や手数料等の受益者負担の適正化を図ること。
時間外勤務の抑制について	<ul style="list-style-type: none">・ワークライフバランスの確保と人件費の削減のため、時間外勤務の抑制に取り組むこと。
臨時職員・再任用職員等の適正な配置について	<ul style="list-style-type: none">・部局内における臨時職員・再任用職員等の適正な配置に向けた見直しを行うこと。
効果・効率的な組織体制の構築	<ul style="list-style-type: none">・全体的な事務の効率化を図るため、組織体制の見直しに向けた検討を進めること。
随意契約について	<ul style="list-style-type: none">・随意契約に当たっては、様々な事例を調査しながら十分な設計根拠の審査と費用の検証を行うこと。・公正公平の担保として、「責任の明確性」「工期の短縮」「費用の軽減」に厳に注意をすること。

(2) 総務部

項目	今後の方向性
公共施設の管理について	<ul style="list-style-type: none">・本庁の機能と市内全域の公共施設（公民館を除く）の機能を全て洗い出し、統合や機能の集約等、施設の活用方法を検討すること。
情報システムの管理運営	<ul style="list-style-type: none">・システム運用・管理経費の抑制を図ること。・個別システム等の導入等にあっても、情報政策室は積極的に関与し、チェック機能の役割を果たしながら庁内総括的に効率的なシステム管理の運営を行うこと。
市史編さん担当施設管理費	<ul style="list-style-type: none">・他の施設との機能の統合により業務の効率化・運営コストの低減化を図れないかを検討すること。

(3) 企画財政部

項目	今後の方向性
ふるさと応援推進事業	<ul style="list-style-type: none">・返礼品の充実と寄附の増大に向けた取組を行うこと。

(4) 地域部

項目	今後の方向性
市民情報交流センターについて	<ul style="list-style-type: none">・他の施設との機能の統合により業務の効率化・運営コストの低減化を図れないかを検討すること。

(5) 市民部

項目	今後の方向性
三重地方税管理回収機構について	<ul style="list-style-type: none">・機構からの脱退に向けた取組を進めること。

(6) 生活環境部

項目	今後の方向性
市の人権事業の集約化について	<ul style="list-style-type: none">・人権施策の効率的な運営に向けて、事業の集約化を行うこと。・人権に関わる施設の機能統合により業務の効率化・運営コストの低減化を図れないかを検討すること。

(7) 健康福祉部

項目	今後の方向性
社会福祉協議会のあり方について	<ul style="list-style-type: none">・他市の社会福祉協議会の運営状況の調査・研究を行い、自主自立の運営に向けて指導を行うこと。
福祉相談等関連事業の集約検討	<ul style="list-style-type: none">・健康福祉部が主体となり、子ども部や教育委員会等と相談機能の集約化に向けた検討を行い、予算の効率化に向けた取組を進めること。
地域福祉活動拠点施設整備事業	<ul style="list-style-type: none">・後年度の維持管理を含めた整備方針を策定すること。
生きがい活動支援通所事業	<ul style="list-style-type: none">・設備の老朽化が進んでいることから、老人福祉センターふれあい3階浴場のあり方について検討をすること。・福祉バスについて、スクールバスとの兼用での運用を検討し、あわせて委託と直営での費用比較も行うこと。
紙おむつ購入費給付事業	<ul style="list-style-type: none">・要介護度の支援基準を見直し、対象の限定を検討すること。
緊急通報システム事業	<ul style="list-style-type: none">・事業委託について、民間事業者への移行も含め、運用方法等の見直しを行うこと。
相談支援事業	<ul style="list-style-type: none">・平成28年4月の契約切り替えに伴い、他の事業者の参入を促す等の検討を行うこと。
地域活動支援センター事業	<ul style="list-style-type: none">・他市の事例を調査し、固定額での委託から利用時間に応じた時間単位に変更することや、利用者負担を求める等の検討を行うこと。
がん対策事業	<ul style="list-style-type: none">・クーポン配布の対象者を限定し、縮小すること。

(8) 子ども部

項目	今後の方向性
ブックスタート事業	<ul style="list-style-type: none">・スポンサーの公募を行う等、財源確保への取組を行うこと。
マイ保育ステーション事業	<ul style="list-style-type: none">・マイ保育ステーションについて、再任用職員の活用を検討すること。

(9) 産業部

項目	今後の方向性
名張市観光協会補助金	<ul style="list-style-type: none">・市の補助金等に頼らない自主自立した運営に向けた指導を行うこと。
赤目四十八滝キャンプ場の管理運営	<ul style="list-style-type: none">・施設老朽化に伴い、平成29年3月の指定管理契約期間満了後の用地の返還や施設設置条例の廃止に向けた具体的な取組を進めること。
リバーナホール管理運営事業	<ul style="list-style-type: none">・平成28年4月の契約更新に伴い、賃借料の抑制や、貸しテナントとする等、運営方法の見直しを行い利用者の増加や事業収入の増収に取り組むこと。

とれたて！なばり実施補助金	・出店料の見直しを行うとともに、協賛金を募る等財源確保に努めること。
市民農園運営・整備事業	・市直営の市民農園を廃止し、地域づくり組織等への移行に向けて協議を進めること。
農業研修センター管理費	・平成27年度末の指定管理期間満了に伴う施設廃止に向けた取組を進めること。

(10) 上下水道部

項目	今後の方向性
農業集落排水事業 公共下水道事業	・下水道事業の統一的な使用料の適正化に向けた取組を進めること。

(11) 市立病院

項目	今後の方向性
病院事業会計	<ul style="list-style-type: none"> ・同床規模の自治体病院の経営状況の調査を行い、医業収益の向上に努め、病院全体で一丸となって経営改善に取り組むこと。 ・介護老人保健施設ゆりの里の黒字化に向けて、稼働率の向上と経費節減に努めること。 ・看護学校の授業料等について、料金の見直しを行うこと。
看護師等修学資金貸付事業	・貸付に係る所得要件を設けること。

(12) 教育委員会

項目	今後の方向性
小学校給食費	<ul style="list-style-type: none"> ・伊賀米との差額を、給食費内で賄うよう検討を行うこと。 ・給食費の会計のあり方について、公会計への移行を検討すること。
遠距離通学費補助金（小学校）	・スクールバスについて、福祉バスとの兼用での運用を検討し、委託と直営での費用比較を行うこと。

名張市総合計画「理想郷プラン」後期基本計画施策指標一覧

施策	指標	単位	現状値 2008 (H20)	実績値 2014 (H26)	目標値 2015 (H27)	備考	
第1章 互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし							
第1節 人を大切に作る社会の創造							
111	人権尊重	部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくすために、自らが出来ることを考え取り組みたいと思っている市民の割合	%	64.0	62.1	68.0	
		地域づくり組織等が主催する人権学習会の開催数【延べ値】	回	83	916	680	
		人権啓発まちづくりリーダー養成講座受講者数【延べ値】	人	21	408	210	
		人権・同和問題企業研修会の参加企業（事業所）数【延べ値】	社	130	630	1,040	
		隣保館で開催される講座等の参加者数【延べ値】	人	1,970	17,815	16,470	
		人権センターが主催する各種事業の参加者数【延べ値】	人	302	4,791	2,480	
112	男女共同参画社会	男女の固定的な役割分担に同感しないという市民の割合	%	73.6	76.1	76.0	
		男女共同参画基本計画に掲げる数値目標の達成状況	%	65.8	88.5	100.0	
		審議会等への女性登用率	%	27.6	25.7	45.0	
		妊婦健康診査受診率	%	86.4	96.4	93.0	
第2節 地域づくりと市民活動の促進							
121	地域づくり	地域づくり組織・区・自治会などの地域づくり活動に参加したことがある市民の割合	%	71.0	58.8	76.0	
		隣近所や地域の人との交流があると感じている市民の割合	%	71.5	70.9	77.0	
		地域づくり協議会実践交流会に参加して、住民主体のまちづくりの必要性を認識できた参加者の割合	%	76.6	91.7	82.0	※
122	市民公益活動	NPOやボランティア等の市民公益活動に参加したことがある市民の割合	%	28.3	26.4	32.0	
		「名張市市民活動支援センター」のサイトに登録している市民公益活動団体等の数	団体	42	58	120	
123	コミュニティの元気づくり	「新しい公」をめざして、地域や市民活動団体(NPO)が担った市の事務事業数(指定管理含む)【延べ値】	件	9	156	179	※
		地域づくり協議会実践交流会に参加して、住民主体のまちづくりの必要性を認識できた参加者の割合	%	76.6	91.7	82.0	※
		地域づくり組織・区・自治会などの地域づくり活動に参加したことがある市民の割合	%	71.0	58.8	76.0	
第3節 健康福祉ネットワークの構築							
131	健康福祉ネットワーク	保健福祉サービスにかかる市の情報提供や相談体制を評価している市民の割合	%	52.7	62.5	57.0	
		ボランティア登録人数	人	2,566	3,685	3,260	
		ボランティアコーディネーター養成数【延べ値】	人	4	10	11	
		まちの保健室における相談件数【延べ値】	件	16,738	131,023	193,500	
		ユニバーサルデザインアドバイザー数【延べ値】	人	48	50	55	
第4節 健康長寿のまちづくり							
141	健康づくり	健康な暮らしを送っていると感じている市民の割合	%	80.5	80.3	85.0	
		胃がん検診受診率(国の指針等の見直しに伴い目標値変更)	%	6.02	16.1	15.00	

名張市総合計画「理想郷プラン」後期基本計画施策指標一覧

施策	指標	単位	現状値 2008 (H20)	実績値 2014 (H26)	目標値 2015 (H27)	備考	
141	健康づくり	乳がん検診受診率(国の指針等の見直しに伴い目標値変更)	%	5.07	21.4	20.00	
		特定健康診査受診率(国民健康保険)(国の指針等の見直しに伴い目標値変更)	%	25.2	35.5	50.0	
		特定保健指導実施率(国民健康保険)(国の指針等の見直しに伴い目標値変更)	%	11.6	21.6	50.0	
		内臓脂肪症候群該当者及び予備群の減少率	%	26.6	-	23.9	
142	地域医療	かかりつけ医を決めている人の割合	%	77.4	77.5	85.0	
		地域医療体制に満足している市民の割合	%	29.4	47.0	33.0	
		一月あたりの地域医療機関等から市立病院への紹介件数	件	328	513	500	
		一月あたりの市立病院から地域医療機関等への紹介件数	件	252	490	380	
第5節 自立を支える地域福祉の充実							
151	高齢者福祉	生きがいを感じながら、安心して暮らしている高齢者の割合	%	76.2	76.9	79.0	
		地域づくり組織・区・自治会などの地域づくり活動に参加したことがある65歳以上の市民の割合	%	76.6	71.9	80.0	
		目的を持って生涯学習に取り組んでいる65歳以上の市民の割合	%	47.8	54.7	51.0	
		週に1回以上スポーツに親しんでいる65歳以上の市民の割合	%	45.8	54.9	49.0	
		中重度の要介護認定者の割合	%	9.10	9.7	9.00	
152	障害者福祉	障害者に対する住民の理解が進んでいるとする市民の割合	%	51.5	52.5	58.0	
		グループホーム等において、地域で自立した生活をしている障害者数【延べ値】	人	43	81	168	
		一般就労への移行に向けて支援を行った障害者数【延べ値】	人	4	39	32	
		一般就労へ移行した障害者数【延べ値】	人	7	68	56	
		手話通訳率社員養成講座の受講者数【延べ値】	人	8	70	148	
153	子育て・子ども支援	一月あたりの乳幼児医療費助成の件数	件	3,510	7,782	3,100	
		ファミリー・サポート・センター事業の会員数	人	276	255	375	
		地域子育て支援事業における相談件数【延べ値】	件	1,800	10,797	15,600	
		子育て広場参加者数【延べ値】	人	38,772	296,796	329,500	
		市立保育所のうち、運営を民間委託または民営化した園数	園	2	10	14	
		ブック・スタートのサービスをきっかけに絵本の読み聞かせを家庭でも実践している人の割合	%	93.9	89.6	96.0	
		放課後児童クラブを利用する特別支援児童の数【延べ値】	人	13	94	109	
		市内の保育施設や子育てサービス、相談窓口等の子育て支援に満足している割合	%	-	52.7	60.0	
154	社会保障	保護廃止世帯における自立率	%	53.3	47.4	58.0	
		市等が運営する国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療制度が適切に運営されていると感じる市民の割合	%	50.1	58.2	53.0	
		生活保護世帯のうち、世帯主や世帯員が働きながら保護を受けている世帯の割合	%	62.5	52.6	68.0	
		三重県平均を100%とした場合の国民健康保険被保険者一人あたりの医療費	%	97.1	104.6	96.5	
		国民健康保険税の収納率(現年)	%	90.1	94.2	92.3	

名張市総合計画「理想郷プラン」 後期基本計画施策指標一覧

施策	指標	単位	現状値 2008 (H20)	実績値 2014 (H26)	目標値 2015 (H27)	備考
155 雇用	働く意欲のある人にいきいきと働ける場が確保されていると思う市民の割合	%	17.3	27.4	21.0	
	若者の就業率	%	76.6	77.8	80.0	
	高齢者の就業率	%	28.2	30.7	30.0	
	就労セミナーの参加者数【延べ値】	人	22	216	200	
	障害者法定雇用率達成企業数【延べ値】	社	12	13	16	
第2章 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし						
第1節 良好な地域環境づくり						
211 環境保全	環境保全活動に参加したことがある市民の割合	%	70.5	63.4	77.0	
	エコポイント事業に取り組む店舗・事業所の登録数	店	58	-	65	※
	BOD値 シャックリ川町田橋（年平均）	mg/リットル	3.0	4.4	2.5	※
	地域づくり組織や市民公益活動団体等と協働で行う美化活動の参加者数【延べ値】	人	3,600	35,648	29,880	
212 自然環境	身近な自然環境（田園や里山、森林等を含む）の保全や適正な管理・活用に関心のある市民の割合	%	73.2	71.1	77.0	
	市民農園の利用が、地域住民との交流のきっかけになったと答えた人の割合	%	18.0	14.5	22.0	※
	水田を活用した景観作物の植栽面積【延べ値】	ha	2.5	2.1	3.1	※
第2節 循環型社会の創造						
221 省資源・省エネルギー	日常生活で省資源・省エネルギーを心がけている市民の割合	%	93.1	87.4	99.0	
	市の事務事業にかかる二酸化炭素排出量（2009年～法改正に伴い目標値の変更、現状値は2009（H21）年度値）	t	11,771	12,789	11,065	
	環境マネジメントシステム導入事業所数	社	16	18	20	
	太陽光発電による市内の年間発電量	kw/h	912,000	14,100,000	1,403,000	
222 ごみの減量化とリサイクル	一人一日あたりのごみ排出量	g	1,006.4	893.7	942.0	
	家庭から排出される一人一日あたり燃やすごみの量	g	364.7	370.4	321.0	
	家庭から排出される一人一日あたり燃やさないごみの量	g	37.6	38.9	36.5	
	ごみのリサイクル率	%	27.3	30.0	31.5	
	ごみの減量・分別・資源化を実施している市民の割合	%	-	93.6	94.0	
223 廃棄物処理	市内で発生する廃棄物が適正に処理されていると感じている市民の割合	%	69.4	81.5	74.0	
	ごみの減量化・再資源化に対する認識が高まったと感じたりリサイクルプラザ利用者の割合	%	73.1	80.6	83.0	
第3節 新しい名張農業の振興と農山村の整備						
231 農村環境整備	市内産の農作物を積極的に購入している市民の割合	%	64.3	63.2	69.0	
	農業経営体（認定農業者数）の数【延べ値】	人	43	51	65	
	新規就農（業）者数【延べ値】	人	3	42	7	
	認定農業者等の農地利用集積率	%	3.3	4.3	5.3	

名張市総合計画「理想郷プラン」 後期基本計画施策指標一覧

施策	指標	単位	現状値 2008 (H20)	実績値 2014 (H26)	目標値 2015 (H27)	備考
231 農村環境整備	農産物の「地産地消」に取り組むグループの数【延べ値】	グループ	7	9	11	
	園芸福祉市民講座の受講者数【延べ値】	人	253	835	293	
	市民農園の利用が、地域住民との交流のきっかけになったと答えた人の割合	%	18.0	14.5	22.0	※
	水田を活用した景観作物の植栽面積【延べ値】	ha	2.5	2.1	3.1	※
232 森林環境整備	環境林の整備面積及び間伐等の森林施業面積【延べ値】	ha	46.3	113.6	130.0	
	下刈り、枝打ち、間伐等の森林施業面積（環境林を除く）【延べ値】	ha	194.7	404.7	552.6	
	森林環境が適切に保全されていると感じる市民の割合	%	-	47.1	48.0	
第3章 人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし						
第1節 魅力的な都市環境づくり						
311 土地利用	秩序ある土地利用が行われていると感じる市民の割合	%	47.5	52.6	53.0	
	都市計画法や都市計画制度などにかかる市民へのPR回数【延べ値】	回	8	95.0	113	※
312 都市環境	自分が住む地域におけるまち並みなど景観や環境が良好であると感じる市民の割合	%	65.5	73.7	72.0	
	都市計画法や都市計画制度などにかかる市民へのPR回数【延べ値】	回	8	95	113	※
	景観形成をテーマとするフォーラム等への参加人数【延べ値】	人	-	200	600	
313 市街地整備	中心市街地に魅力があると感じる市民の割合	%	57.2	49.2	63.0	
	再び、名張地区既成市街地を訪れてみたいと感じた人の割合	%	36.0	77.8	41.0	
	やなせ宿の入館者数【延べ値】	人	17,000	137,100	136,500	
	希央台の宅地化率	%	67.5	81.7	94.0	
314 水と緑のまちづくり	水辺や緑とのふれあいに満足している市民の割合	%	70.8	71.8	77.0	
	市内の公園のうち、地域づくり組織が維持管理をしている割合	%	79.9	81.2	85.0	
	観光入込客数（赤目滝）	人	193,000	161,241	265,000	※
	地域づくり組織等による地域緑化活動の件数【延べ値】	件	4	48	37	
第2節 安全で安心な地域づくり						
321 防災	地震等の災害への備えをしている市民の割合	%	35.7	42.6	41.0	
	自主防災隊などリーダー研修の受講者数【延べ値】	人	705	8,399	5,640	
	防災訓練を実施した地区数【延べ値】	地区	105	1,254	865	
	災害時における生活必需品の供給応援協定締結数【延べ値】	団体	9	11	11	
322 消防・救急	3ヵ年の平均出火率	件	3.11	2.54	3.00	
	高齢者等の世帯への防火訪問指導件数【延べ値】	件	850	1,220	8,200	
	自主防災組織等への指導件数【延べ値】	件	45	212	396	
	応急手当講習会受講者数【延べ値】	人	30,795	51,661	73,000	

名張市総合計画「理想郷プラン」後期基本計画施策指標一覧

施策	指標	単位	現状値 2008 (H20)	実績値 2014 (H26)	目標値 2015 (H27)	備考	
322	消防・救急	救急救助体制が充実していると感じる市民の割合	%	-	54.3	48.0	
323	防犯	犯罪に対して不安感を持っている市民の割合	%	56.9	49.9	49.0	
		刑法犯認知件数	件	899	475	726	
		初発型非行数	件	77	16	60	※
		市広報への消費生活に関する啓発情報の掲載【延べ値】	回	5	40	47	
第3節 快適な生活環境づくり							
331	下水道等	汚水衛生処理率	%	91.5	96.0	96.0	※
		公共下水道を利用できる市民の割合（人口普及率）	%	15.8	26.5	33.0	
		公共下水道に接続している人口	人	11,344	20,739	26,860	
		農業集落排水施設を利用できる市民の割合（人口普及率）	%	8.9	9.4	12.0	
		農業集落排水施設に接続している人口	人	6,539	7,450	9,500	
		BOD値 シャックリ川町田橋（年平均）	mg/ℓ	3.0	4.4	2.5	※
		生活排水を適切に処理する環境が整備されていると感じる市民の割合	%	-	71.9	76.0	
332	上水道	水道サービスの質と料金に満足している市民の割合	%	53.7	52.4	59.0	
		老朽管改良率	%	1.7	4.4	3.0	
		汚水衛生処理率	%	91.5	96.0	96.0	※
		総収支比率	%	100.3	85.1	95.0	
333	住宅・住環境	安心して暮らし続けることができる住環境にあると感じている市民の割合	%	58.9	62.2	65.0	
		木造住宅の耐震診断受診率	%	0.6	0.3	0.8	
		都市計画法や都市計画制度などにかかる市民へのPR回数【延べ値】	回	8	95	113	※
334	斎場・墓地	先祖を追想できる適切な環境が整備されていると感じる市民の割合	%	47.1	50.2	53.0	
		東山墓園墓所貸付率	%	84.9	97.9	100.0	
第4節 総合的な交通対策の推進							
341	交通対策	公共交通など市内の交通環境に満足している市民の割合	%	39.4	37.6	43.0	
		交通人身事故の発生件数	件	432	236	390	※
		放置自転車等の台数（年間）	台	209	43	188	
		コミュニティバス「ナッキー号」の1日平均乗降客数	人	185	173	203	
342	道路整備	市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと感じている市民の割合	%	47.5	42.1	51.0	
		地域づくり組織等が主体となって、道路等の維持管理に携わっている個所数【延べ値】	個所	81	694	734	※
		交通人身事故の発生件数	件	432	236	390	※

名張市総合計画「理想郷プラン」後期基本計画施策指標一覧

施策	指標	単位	現状値 2008 (H20)	実績値 2014 (H26)	目標値 2015 (H27)	備考	
第5節 都市産業の振興							
351	都市産業	市内総生産	億円	2,431	2,305	2,516	
		年間商品販売額	億円	919	919	930	
		商工会議所の会員数	社	1,160	1,137	1,200	
		年間製造品出荷額等	億円	2,498	2,343	2,700	
		エコポイント事業に取り組む店舗・事業所の登録数	店	58	-	65	※
		買物や食事などの日常生活の利便性に満足している市民の割合	%	-	60.7	70.0	
352	観光	観光入込客数（市全体）	人	297,000	1,125,133	482,000	
		観光入込客数（赤目滝）	人	193,000	161,241	265,000	※
		観光協会ホームページへの1日平均アクセス件数	件	410	417	670	
		東大和西三重観光連盟ホームページへの1日平均アクセス件数	件	20	31	28	
		名張市の物産や観光地が全国に向けてPR（情報発信）されていると感じる市民の割合	%	-	26.4	30.0	
第4章 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし							
第1節 生きる力をはぐくむ教育の充実							
411	学校教育	小・中学校の教育環境に満足している市民の割合	%	59.2	59.3	65.0	
		学校に満足している児童生徒の割合	%	88.1	91.0	92.0	
		不登校児童生徒の割合	%	1.5	1.27	1.1	
		支援の結果、登校できるようになった児童生徒の割合	%	15.0	39.2	26.0	
		特別支援教育にかかる個別の指導計画を作成している児童生徒の割合	%	27.0	100.0	50.0	
412	青少年健全育成	初発型非行数	件	77	16	60	※
		青少年ボランティア数	人	47	56	56	
		放課後子ども教室実施回数【延べ値】	回	22	463	1,100	
		青少年の健全な育成に向けた取組が行われていると感じる市民の割合	%	-	42.7	45.0	
第2節 豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進							
421	生涯学習	目的を持って生涯学習に取り組んでいる市民の割合	%	42.3	44.5	49.0	
		公民館のサービスに満足している利用者の割合	%	66.9	95.7	77.0	
		市民1人あたりの年間公民館利用回数	回	3.1	3.5	3.8	
		市民1人あたりの年間図書貸出冊数	冊	6.1	6.7	6.8	
		年度内に図書の貸出を利用した市民の割合	%	15.6	14.5	17.0	
		公民館における家庭教育講座の講座数【延べ値】	講座	10	75	96	
		高等教育機関と共同実施した事業数【延べ値】	件	0	11	15	

名張市総合計画「理想郷プラン」後期基本計画施策指標一覧

施策	指標	単位	現状値 2008 (H20)	実績値 2014 (H26)	目標値 2015 (H27)	備考
422 生涯スポーツ	週に1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合	%	36.5	41.5	43.0	
	スポーツリーダーバンク利用回数【延べ値】	回	15	51	260	
	市民1人あたりの年間体育施設利用回数	回	5.0	4.4	6.0	
第3節 市民文化の創造						
431 市民文化	1年間に1回以上、文化・芸術を鑑賞したことがある市民の割合	%	49.6	50.9	54.0	
	美術展覧会出展数【延べ値】	点	230	1,420	1,892	
432 文化資源	青少年センター、名張藤堂家邸跡、夏見廃寺展示館の入場利用者数【延べ値】	人	44,288	287,792	360,000	
	名張の歴史を知っている市民の割合（歴史テスト認知率）	%	38.4	32.3	43.0	
	夏見廃寺展示館や名張藤堂家邸跡を活用した市民団体主催行事への参加者数【延べ値】	人	497	2,244	6,700	
433 文化交流	歴史講座等を通じて、文化財保護の重要性を理解できたと感じた参加者の割合	%	71.0	71.0	73.0	
	名張の文化を広く市外に発信したいと考える市民の割合	%	55.5	60.1	60.0	
	指差し会話集の数【延べ値】	件	13	13	20	
第5章 新しい時代を拓く、自立と協働による地域経営						
第1節 協働のまちづくり						
511 地域自治	「新しい公」を知っている市民の割合	%	6.6	7.3	17.0	
	公券委員の在籍する審議会等の割合	%	11.7	8.3	18.0	
	「新しい公」をめざして、地域や市民活動団体(NPO)が担った市の事務事業数（指定管理含む）【延べ値】	件	9	156	179 ※	
	地域づくり協議会実践交流会に参加して、住民主体のまちづくりの必要性を認識できた参加者の割合	%	76.6	91.7	82.0 ※	
	「新しい公」の取り組みを大いに進めるべきであると考え市民の割合	%	-	18.4	25.0	
512 開かれた市政	市民の声を行政に届ける体制が整備されていると感じる市民の割合	%	70.6	71.2	73.0	
	公文書や個人情報の開示決定における開示・非開示判断の適正度	%	33.3	68.8	50.0	
	市民の声の受付件数【延べ値】	件	365	2,473	3,025	
	報道機関への情報提供件数【延べ値】	件	775	5,608	6,345	
	市ホームページへの1日平均アクセス件数	件	1,599	2,300	1,660	
第2節 市民志向のサービス提供						
521 質の高いサービス	行政サービスの質が良くなってきていると感じる市民の割合	%	53.3	57.7	57.0	
	審査制度による事業見直し件数【延べ値】	件	147	222	320 ※	
	総合窓口において、スムーズに手続きを行うことができたと思う市民の割合（隔年実施）	%	85.0	97.9	90.0	
	総合窓口化した業務数【延べ値】	件	8	7	12	
	住民基本台帳カードの交付率	%	4.9	23.4	20.0	
	庁内電子決裁率	%	61.2	98.2	80.0	

名張市総合計画「理想郷プラン」後期基本計画施策指標一覧

施策	指標	単位	現状値 2008 (H20)	実績値 2014 (H26)	目標値 2015 (H27)	備考
521 質の高いサービス	情報セキュリティ研修を受講修了した職員の割合	%	10.0	93.9	50.0	
522 地域情報化	パソコンや携帯電話を利用して、日々の生活に必要な情報を入手している市民の割合	%	54.3	59.1	59.0	
	行政情報チャンネルの視聴が可能な世帯の割合	%	55.0	58.4	60.0	
	安心してITを使うことができるように情報提供を行った件数【延べ値】	件	-	11	24	
第3節 持続可能な市政運営						
531 戦略的な都市経営	「理想郷プラン」後期基本計画の数値目標（2015年度）の達成状況	%	-	55.3	100.0	
	審査制度による事業見直し件数【延べ値】	件	147	222	320 ※	
532 効果・効率的な市政	市の組織機構が、分かりやすく、利用しやすいと感じている市民の割合	%	27.7	51.1	34.0	
	効率的な市政運営に向けた取組が行われていると感じる市民の割合	%	39.2	42.9	43.0	
	審査制度による事業見直し件数【延べ値】	件	147	222	320 ※	
	指定管理者制度等を活用した公共施設において、当該施設のサービスに満足している利用者の割合	%	85.0	93.3	89.0	
	未利用公共用地の売却件数【延べ値】	件	5	25	17	
533 持続可能な財政運営	経常収支比率	%	95.8	99.7	98.6	
	実質公債費比率	%	15.7	16.3	15.8	
	市税の収納率	%	97.69	98.83	98.10	
	未利用地の有効利用による効果額【延べ値】	千円	52,397	1,254,184	536,000	
	受益者負担の原則に基づき使用料や手数料などが適正であると考える市民の割合	%	-	49.6	55.0	
第4節 広域連携の推進						
541 広域連携	名張市周辺の市町村の公共施設（教養・文化・レクリエーション施設・温泉施設等）を利用した市民の割合	%	64.2	69.9	68.0	
	伊賀圏域において共同処理している事業数【延べ値】	件	4	4	5	
	環境や防災など近隣市町村等と共同で取り組むことが効果的な分野で、連携が行われている件数【延べ値】	件	12	14	16	
	地域間交流による文化・物産等の共同事業への参加回数【延べ値】	回	8	121	69	
	伊賀市をはじめ広域的な交流活動が活発に行われていると感じる市民の割合	%	-	36.0	40.0	

※印・・・施策間の共通指標